

令和 6 年度

政務活動費 共通経費 整理表

会派等の名称	新奥会
--------	-----

政務活動費(共通経費)支出整理票			整理番号	05 - 01
			支出整理日	令和 07 年 03 月 24 日
令和 6 年度	会派等名	新奥会	支出項目	広報費

共通経費額 (按分対象額)	390, 192	円
------------------	----------	---

使途：新奥会会派会報「しんおう vol. 7」の発行と配布

No.	支出の明細	支出日	領収書金額	対象外	対象支出額
1	印刷、新聞折込料	R07-03-24	390, 192		390, 192
2					0
3					0
4					0
5					0
6					0
7					0
8					0
9					0
10					0
合 計			390, 192	0	A 390, 192

共通経費 按分表	連番	議席番号	議員名	割合(B)	按分額(A×B)
	1	9	小野 優	1/3	130, 064
	2	10	及川 春樹	1/3	130, 064
	3	12	高橋 晋	1/3	130, 064
	4				
	5				
	6				
	7				
	8				
	9				
	10				
按分人数		3	合 計		390, 192

(注意) 按分額の合計は、端数整理(円未満切り捨て)により共通経費額と一致しない場合があります。

備考	印刷代 31, 680部×8円(消費税込) = 253, 440円
	新聞折込代 31, 080部×4. 4円(消費税込) = 136, 752円

領 収 証

江刺 奥州藤原氏発祥の地
歴史公園「えさし藤原の郷」
江刺金札米・江刺りんご・江刺牛
岩谷堂タンス・鹿踊り・大滝詠一

No. 050411

令和 7 年 3 月 24 日

新奥会 様

金額 7390192

但し会報<7>印刷代と送料代
上記の金額正に領収しました。



登録番号: T54C0602000880



内 訳	金 額
現 金	
小 切 手	
手 形 /	
相 殺	
内消費税	35,472
合 計	

誇りある郷土づくりのお手伝い
有限会社 江刺プリント社

〒023-1111 岩手県奥州市江刺大通り6-2
TEL (0197) 35-6160
FAX (0197) 35-6160

納品・請求書

納品日令和 7 年 3 月 24 日

伝票No. 039341

新奥会

御中

TEL:

210465

有限会社 江刺プリント社

T5400602000880

代表取締役

高 橋 晋

023-1111 岩手県奥州市江刺大通り6-2

TEL:0197-35-4639

FAX:0197-35-6160

※この書類はインボイスに該当しますので、適切に保管してください。

担当:

区 分	商 品 名	数 量	単 位	税 率	単 価	金 額	備 考
売上	会報<7>	31,680	部	10.0%	8	253,440	
売上	B4 折り込み料立て替え代 28日朝刊	31,080	枚	10.0%	4.4	136,752	
*	【税率別内訳】						
				10.0%	小計(税抜)	[消費税等]	[合計金額]
				合計	354,720	35,472	390,192
合 計						390,192	

摘要

取引銀行・岩手銀行江刺支店 普通0166923 ・北日本銀行江刺支店 普通2033942

担当



奥州市議会新奥会 会報

しんおう

Vol.7
令和7年3月
発行

令和6年度 新奥会行政視察報告

令和7年1月23日行田市・24日藤沢市◎総合計画について

奥州市では現在、令和8年度までの第2期総合計画の最終盤にかかっており、次期総合計画の策定に向けて令和7年度からその作業が動き出します。私たち新奥会は次期総合計画の策定に備え、逆に総合計画が無いパターンも知る必要があると考え、直前に廃止した埼玉県行田市と、総合計画を廃止した自治体として先駆的な神奈川県藤沢市で学びました。

行田市は総合振興計画という名前でこれまで取り組んできておりましたが、令和5年に第6次総合振興計画の途中でそれを廃止して、新たな基本構想を策定することとなりました。総合計画に変わる市政運営の総合指針として、市が目指す将来像とその実現に向けた重点政策で構成され、これを補完する計画として「行田市実施計画」を毎年度更新していくというのがその仕組みです。新しい行田の将来像を絵本のようなストーリー仕立てで市民にわかりやすく示し、そこに3つに絞った重点施策を掲げた、というのが特徴です。



藤沢市は平成26年に総合計画を廃止し、その代わりに市長の任期に合わせた市政運営の指針を定めて取り組んでいます。意識調査や市民アンケート、関係団体からのヒアリングなど様々な手法で課題を抽出・整理した後、目指す都市像やまちづくりのコンセプトを盛り込んだ基本方針から重点方針を決定、そして重点事業を組み立てていく、というのが特徴です。

両市とも、それまでの総合計画ではスパンが長すぎて社会情勢の変化に対応しづらいこと、策定までに多大な労力や時間を要すること、総合計画の構造が複雑過ぎて市民にわかりづかったことなどが、廃止の主な理由でした。一方で長期的な視点で見ると財政計画上の担保をどうしていくのか、といった課題を感じましたし、どちらも総合計画廃止後に市長が交代していないため、その後の動きを経験していない不安も見えてきました。

奥州市でも総合計画の他に定めてきた総合戦略や市長が掲げる未来羅針盤プロジェクトがあり、それをどう次期総合計画に落とし込んでいくのか。令和7年度にしっかりと調査・議論した上で、次の任期に引き継いでいけるように取り組んでまいります。

令和7年1月24日宇都宮市◎ジャズのあまらちについて

ジャズミュージシャンの渡辺貞夫の出身地と言うこともあり、地域の音楽活動が盛んでジャズ演奏家や評論家といった人材の輩出があることから、まちづくりにつなげていました。ジャズの普及による文化的つながりから商業的なつながりもみられました。

当市においても、大滝詠一の出身地でもあり音楽の盛んな地域でミュージックパーが点在することから、音楽がまちづくりの活性化につながればと言うことで、その先進地域でもある宇都宮市を訪問しました。宇都宮市では文化活動や教育の現場でも音楽に触れる機会を設けており、ストリートジャズ等も行い、地域、市民にとって音楽は身近なものとならえているように感じました。当市においても商業・観光振興や文化活動の一環として音楽を盛り上げていけると、まちなかの活性化や文化交流としても効果が大きいと期待できると感じました。

20周年記念事業
「書籍：宇都宮とジャズ」発行（R6.3月）

新奥会議員活動報告

会長
小野 優
(47歳)
水沢秋町
建設環境常任委員
議会運営委員長
議会広報公聴委員会
若手県議馬組合議会議員



早稲田大学マニフェスト研究所による議会改革度調査では、高い評価を得ている奥州市議会ですが、それに安んじている議員は一人もいないと思っております。現任、議会運営委員会委員長の職を離り、議会基本条例の検証作業を進めているところですが、市民にとってより良い議会としてあるべき姿を引き続き模索していきます。

一般質問では空き公共施設の活用や地区センターについて、災害時の対応や雇用・事業承継などを取り上げました。空き公共施設の活用は関心度の高い分野ですが、これまでは廃止が決まってから次の展開を考えるケースが多く、予定が決まっている以上先んじて取り組みを始めることを求めています。災害時の対応に関しては、10月に実際に避難半島に足を運び

現地の様子を見てまいりました。奥州市は広大な面積を有しますが、だからといって災害廃棄物を無尽蔵に仮置できるスペースがあるわけでもありません。また土地勘の無いボランティアを受け入れる体制という点も準備しておく必要があります。東日本大震災のときに比べ技術的な進歩もありますが、復興作業に係る時間は膨大であり、平時からの想定がいかに重要であるかを感じました。

令和7年4月からはこれまで何度か取り上げてきた、パートナーシップ・ファミリーシップ制度がようやく奥州市でもスタートします。生きづらさを感じてきた人の心が少しでも和らぐことを願います。

副会長
高橋 晋
(62歳)
江刺豊田町二丁目
産業経済常任委員会
副委員長
議会改革検討委員長
国際リニアコライダー誘致
推進議員連盟幹事



6月議会一般質問では、「開校した学校のピアノや文化財の管理」を問いました。統合先の学校等へ移管、更に地区振興会を対象とした譲渡会を開催。備品、本は資源物として、ピアノは業者に売却。文化財等は歴史遺産課が収集。一語は市のホームページで公開しているとのこと。

また、「公共施設予約システムの現状と課題」について質した。運用面の統一や申請から支払いまでオンラインで完結するサービスに向けて改善していくとの答弁。

12月議会一般質問では、新医療センターについて質した。奥州市医師会が行った「新医療センター整備基本計画中間案アンケート」は、63.3%が「賛成できない」と回答。住民投票を考えた方がよいのではと質しました。

また、「江刺に文化交流機能を備えた複合施設整備」を質しました。奥州市文化会館とその他の文化会館では、利用料金や減免基準に相違があり、利用料金や減免基準の見直しを検討すること。文化芸術推進基本計画」を作成すべきと質しました。市長が変わっても揺るぎない文化活動が推進できるよう、関係部署と相談しながら前向きに検討すると答弁。

議会改革検討委員長として、議会改革度ランキング全国2位に相応しい改革を進め、令和7年度には結果を出したいと思えます。

水沢江刺駅の発車メロディが、今年の10月で50周年を迎えようとしている中、3月17日より江刺地域の防災行政無線の正午チャイムが、大滝詠一の「君は天然色」に変更になりました。

幹事長
及川 春樹
(55歳)
水沢町町長
建設環境常任委員会
副委員長
議会運営委員
市政調査会副会長
奥州金ケ崎行政事務組合議会議員
国際リニアコライダー誘致
推進議員連盟幹事長



今年は東北新幹線水沢江刺駅開業40周年です。エリアプロジェクトも検討が始まり、当時尽力された方々の思いを背負い、今後の進捗を注視していきます。

北上川無堤防地域に関して、早期施工は地域の声ですので、市長はじめ担当課、当該地区議員と共に「北上川治水対策」「国道4号線東バイパス整備促進等」について、7月12日に国土交通省をはじめ関係省庁等の中央要望をして参りました。未計画の地域もあり、これまでと同様に努めてまいりたいと思います。一般質問は以下のように致しました。

6月定例会

民間企業との連携について

- ①「行政と民間企業の連携方策について」

9月定例会

市の医療施策について

- ①「収支見込みについて」
②「県や民間病院との関係性について」

2月定例会

ふるさと納税寄付金の教育長枠の創設について

- ①「小中学校の施設・設備の老朽化における現状と課題について」
②「教育長枠の創設について」

新医療センター建設計画について

- ①「計画の詳細について」
②「運営体制について」

奥州金ケ崎行政事務組合議員として、以下について質問しました。

水道用水供給事業について

- 危機管理対策について

次期経営戦略について

- 重点項目について

建設環境常任委員会の副委員長として、「(仮)ごみの減量化」についての政策提言に向けて進めています。市政調査会の副会長として、議員のなり手不足についての調査研究を進めています。

